せと市議会だより

NO. 116
令和7年9月定例会
2025 11月号

特集

令和6年度決算審査 P2-4

財政の状況や税金の使われ方について
審査しました

©GISPRI

ボランティア元年

愛・地球博
EXPO 2005 AICHI JAPAN ©GISPRI

愛知万博20周年

アーカイブ

2005年愛・地球博は「ボランティア元年」とも称されました。これは国際博覧会として史上初めて大規模なボランティア活動が導入・運用されたことによります。大規模イベントにおける市民参加は、愛・地球博のレガシー（遺産）のひとつです。

関連記事 P11

令和6年度決算審査

財政の状況や税金の使われ方

予算決算委員会全体会

決算の総括、財政の健全性などについて

Q 財政力指数についてピーク時よりも低下している要因は何か伺う。

A 高齢者保健福祉費、社会福祉費および子ども子育て費などの需要額の増加率が、収入額の増加率を上回ったため。

Q 財政規律ガイドラインでは、財政調整基金の積立目標額を標準財政規模の15%としているが、令和6年度決算において基準を超えて積立てを行った理由は何か伺う。

A 令和7年度当初予算において、財政調整基金を10億円取り崩すこととなっているため、基金残高の減額見込み分を積み立てたことに加え、地方創生臨時交付金の振替余剰分や普通交付税の追加交付分などを積み立てたことにより、基準を超えることとなったもの。

総務生活分科会

ふるさと納税について

事業内容▶本市を応援しようとする個人・企業からの寄付を募るとともに、市内事業者の返礼品を提供し、本市の魅力を発信した。

議会の視点 ふるさと納税により本市の歳入が増加するためにどのような取り組みをしているか。

Q ふるさと納税制度による寄付金額が、計画値の2億7,000万円に対して、実績値が1億6,275万円となったが、その評価について伺う。

A 計画値が未達となった要因は昨年10月に総務省によるふるさと納税の制度変更があり、人気返礼品の取り扱いができなくなったことによる影響が考えられる。

総務生活分科会

資源ごみの収集について

事業内容▶ごみ減量および資源化の促進を図り、ごみ処理費用の適正負担をはじめとした循環型社会の構築を目指した。

議会の視点 ごみの分別を促進するためには資源ごみの回収頻度を増やすべきではないか。

Q プラスチック製容器包装の更なる分別について、通常の生活の中でプラごみをストレスなく出せるよう、収集回数の適正化、具体的には週1回の回収が望ましいと考えるが、見解を伺う。

A プラスチック製容器包装の収集回数増加については、市民の皆さんからも要望が多く寄せられており、収集回数増加は非常に有意義であると考える。

総務生活分科会

せと市民総ぐるみ防災訓練について

事業内容▶瀬戸市地域防災計画に基づき、瀬戸市、防災関係機関、市民などが参加して、南海トラフ地震が発生することを想定した総合的な訓練を実施した。

議会の視点 安否の確認をする安否札が各自治会によって表示方法が違う。自治会に入っていない方の対応は。

Q せと市民総ぐるみ防災訓練では、地域によって安否確認の方法が違ったため、大災害の時に他県から救援が来た場合、混乱を招くのではないか。また、自治会に入っていない市民の確認方法はどのようか伺う。

A 安否札については、自治会によって異なるので、地域の方々と協力して安否確認を進めていく。自治会に入っていない世帯にはタオルなど活用できるものを使用していただく。

について審査しました

審査のようすは、議会録画映像などでご覧になれます

厚生文教分科会

産前・産後支援

事業内容▶虐待や産後うつなどの予防を図るため、子育てリスクの高い特定妊婦などに対してサポーターを派遣し支援。令和6年度から、委託事業者を派遣し育児・家事支援を行う事業を開始。

議会の視点 出産後、体調や育児に不安のあるお母さんに「産後ケア事業」をどのように実施したか。

Q 育児不安は、母親だけでなく父親も増え、令和5年度から6年度にかけて、「産後ケア」事業訪問型・通所型・宿泊型の利用者が大きく伸びている理由について伺う。

A 国の指針に従い、令和6年度に基本的に利用条件がなくなり、事業周知の推進や委託先の事業所・医療機関の増加などにより利用者が増加している。事業を円滑に推進するため、随時補正予算などで対応する。

厚生文教分科会

真に効果のある障害者施策の成果について

事業内容▶障害者手当廃止後の取り組みとして、危機管理、就労支援、外出支援、障害児、相談支援、権利擁護、緊急時に加え生活支援の施策を実施した。

議会の視点 取り組みは4年が経つが、市としての手ごたえや成果はどうであったか。

Q 真に効果のある障害者施策は、実施から4年になるが、どのような成果と評価があるか伺う。

A 瀬戸市自立支援委員会から出された意見を基に、障害福祉の増進という観点で、全庁的に各部連携して事業展開しており、実施状況と効果の確認を適時行っている。全庁的に、障害福祉への関心、合理的配慮への理解が進んだと考えている。

厚生文教分科会

子どもの居場所づくりの推進

事業内容▶支援を必要とする子どもの将来の自立につながる力を身に付けるため、学校、家庭、関係機関が連携して支援を行う。

議会の視点 ソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなどとの連携はどうか。

Q スクールカウンセラーやソーシャルワーカーと関係機関の連携強化など不登校対策について、色々な意見を聞きながら図っていくべきと考えるが見解を伺う。

A スクールソーシャルワーカーなどが、それぞれの子どもの状況に応じて、発達支援室、いじめ・不登校対策推進協議会、こども若者家庭センターなどと情報共有し、支援を進めている。

都市活力分科会

菱野団地再生計画推進

事業内容▶菱野団地は完成から40年以上経過し、急激な人口減、少子高齢化が進み、多くの課題が存在し、新たなまちづくりを検討している。

議会の視点 事業開始から6年間の取り組みについて、どのような活動が行われてきたのか。

Q 令和元年度から国の補助事業を活用し団地再生に繋がる取り組みを実施しているが、どのような課題が残っているか伺う。

A 様々な取り組みをしてきているが、人口減少が進んでいることが課題であり、エリアマネジメント団体を中心に、コミュニティ維持に向けた活動に取り組んでいただきたいと考えている。

都市活力分科会

水道事業会計

事業内容▶1年を通じて、取水・浄水を支障なく行うことで、市民に安心安全な水道水の供給を安定的に継続する。

議会の視点 水道施設と水道管の老朽化が顕著であるため、今後の更新費用が増加する。

Q 経営指標の長期前受金戻入を除いた純利益が前年度比約6,483万円減少し、約2億704万円のマイナスとなった要因はどこにあったのか伺う。

A 主な要因は、給水人口が減少し収益が減っている中で、管路施設などの老朽化に伴う漏水修繕工事費用の増加など、維持管理経費が増加したためである。

都市活力分科会

文化財保護普及

事業内容▶旧山繁商店は、平成27年に土地・建物を取得し、登録有形文化財の登録を受け、保存活用計画を作成している。

議会の視点 旧山繁商店の保存活用計画が履行されていない。

Q これまで約1億4,337万円支出してきたが、令和6年度において、応急対策を行わず約1,062万円減額しているが、なぜ減額を行ったのか伺う。

A 当初は応急対策を予定していたが、耐震診断の結果を踏まえ公開を中止し、あわせて工事なども一旦検討が必要となったため、減額補正をしたものである。

産業廃棄物最終処分場(管理型)・建設反対の請願

「瀬戸市山路町地内において民間事業者によって『産業廃棄物最終処分場(管理型)』の建設が計画されている。申請によると15種類の廃棄物が予定されており、中には水銀やアスベストといった毒性の高い物質も含まれている。
また、計画地は本市水源の取水口から近く、土壌や水質汚染など市民の日常生活に重大な影響が生じる懸念がある」として次のとおり請願が議会に提出されました。

〈請願事項〉

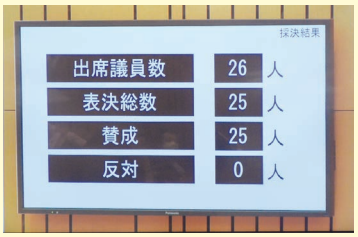
1. **愛知県に産業廃棄物最終処分場計画の申請がされた時点において、瀬戸市議会として愛知県知事に対して、当該計画の不許可を求めること**
2. **瀬戸市議会として、瀬戸市長に対して産業廃棄物最終処分場・建設反対の意思表示を示すこと**
3. **瀬戸市議会として、民意を受け反対の意思表示を示すこと**
4. **瀬戸市議会として、本市にはこれ以上産廃施設は必要ないと表明すること**

この請願に対し、市議会では22人の議員が紹介議員となり、本会議において全会一致で採択しました。
本請願に関しては2人の議員が賛成討論を行いました。

採決

請願第3号

採択



9月定例会の主な議案概要と審査内容

総務生活委員会

第55号議案
市有財産（土地）の売払いについて

概要 瀬戸サイト跡地を住宅用地として売却するもの。

Q 登記面積14,406.01平方メートルという土地であるがどのような開発になるのか。また、周辺道路についてはどのようになるのか伺う。

A 住宅地の造成として宅地分譲を見込んでおり、61戸の住宅ができる予定である。また、西側の道路については6.5mに拡幅する予定である。複数の乗り入れ箇所を設け、近隣住民に迷惑のかからないようにしていく。

厚生文教委員会

第65号議案
瀬戸市立図書館長寿命化(建築)工事請負契約の変更について

概要 現在、実施している市立図書館長寿命化工事の請負契約金額を約440万円増額し、工期を約半年間延長する契約の変更。

Q 変更後は工期が令和8年7月16日までとなるが、延長による代替措置はどのように考えているか伺う。

A 工期延長による代替措置については、8館目となる学校図書館を活用する地域図書館の開設を前倒しして令和7年10月にオープンすることとし、本の貸し出しなどを行っていく。

都市活力委員会

第68号議案
瀬戸市水道事業給水条例の一部改正について

概要 本市が被災した際、本市が指定した工事事業者が宅内配管工事などを行うことができない場合に、市外、県外で指定を受けた事業者が施工をすることができるもの。

Q 本条例を改正した場合の、具体的な手続きなどはどうなるのか伺う。

A 市外、県外で指定を受けた事業者より給水装置工事承認願の提出を受けた際、他市で指定を受けていることを証明する書類を添付することで、承認していくことを想定している。

予算決算委員会 厚生文教分科会

公立陶生病院組合負担金について

概要 公立陶生病院の経営に資する負担金を計上するもの。

Q 公立病院ならではの使命は何か。また補正予算前の当初予算の時点で予見できなかったか。さらに今後同様の地方創成臨時交付金がない場合、どう対応するか伺う。

A 陶生病院は尾張東部保健医療圏で唯一の公立病院として、高度医療や救急、周産期医療など、民間では行えない不採算分野を担い、地域医療の中核病院としての機能を維持している。物価や人件費の高騰は想定していたが、最小限の予算では不測の事態に対応が不十分であったため、組合構成市との協議の結果、補正予算で対応することとした。今後も協議を継続し、必要な負担金を確保できるよう努める。

９月定例会議案等審議結果

■市長提出議案

議案番号	件　　名	議決結果
第55号議案	市有財産（土地）の売払いについて	可決(全会一致)
第56号議案	地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決(全会一致)
第57号議案	瀬戸市旅費条例の一部改正について	可決(全会一致)
第58号議案	瀬戸市職員の退職年金等に関する条例の臨時特例の一部を改正する条例及び瀬戸市職員の退職年金等に関する条例の臨時特例等の一部を改正する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第59号議案	地方公務員法の一部改正等に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第60号議案	瀬戸市地域交流センター条例の一部改正について	可決(全会一致)
第61号議案	瀬戸市手数料徴収条例の一部改正について	可決(全会一致)
第62号議案	瀬戸市子ども・子育て会議条例の一部改正について	可決(全会一致)
第63号議案	瀬戸市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決(全会一致)
第64号議案	瀬戸市立みつば小学校用備品一式の買入れについて	可決(全会一致)
第65号議案	瀬戸市立図書館長寿命化（建築）工事請負契約の変更について	可決(全会一致)
第66号議案	市道路線の認定について	可決(全会一致)
第67号議案	瀬戸市下水道条例の一部改正について	可決(全会一致)
第68号議案	瀬戸市水道事業給水条例の一部改正について	可決(全会一致)
第69号議案	令和７年度瀬戸市一般会計補正予算（第4号）	可決(全会一致)
第70号議案	令和7年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決(全会一致)
第71号議案	令和7年度瀬戸市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決(全会一致)
第72号議案	令和7年度瀬戸市水道事業会計補正予算（第1号）	可決(全会一致)
第73号議案	にじの丘学園校舎増築・改修（建築）工事請負契約の締結について	可決(全会一致)
第74号議案	陣屋線道路改良工事請負契約の締結について	可決(全会一致)
認定第１号	令和6年度瀬戸市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第２号	令和6年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第３号	令和6年度瀬戸市春雨墓苑事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
認定第４号	令和6年度瀬戸市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第５号	令和6年度瀬戸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第６号	令和6年度瀬戸市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決及び認定(賛成多数)
認定第７号	令和６年度瀬戸市下水道事業会計決算の認定について	認定(賛成多数)
同意第５号	瀬戸市教育長の任命について（加藤　正彦　氏）	同意(全会一致)
同意第６号	瀬戸市教育委員会委員の任命について（高橋　積　氏）	同意(全会一致)
同意第７号	瀬戸市固定資産評価審査委員会委員の選任について（鈴木　洋子　氏）	同意(全会一致)
同意第８号	瀬戸市固定資産評価審査委員会委員の選任について（伊藤　昌幸　氏）	同意(全会一致)

■請願

議案番号	件　　名	議決結果
請願第３号	産業廃棄物最終処分場(管理型)・建設反対の請願	採択(全会一致)

左記議案のうち賛否の分かれたもののみ記載

各議員の議案に対する賛否の状況

議案番号＼議員名	自民新政クラブ											公明党瀬戸市議団			日本共産党瀬戸市議団			市民の声			新風せと無所属の会			無会派	無会派	無会派
	黒柳知世	颯田季央	山内精一郎	朝井賢次	髙島淳	西本潤	小澤勝	宮薗伸仁	冨田宗一	柴田利勝	三木雪実	三宅聡	池田信子	長江秀幸	原誠	新井亜由美	浅井寿美	中川昌也	戸田由久	臼井淳	松原大介	馬嶋みゆき	長江公夫	石神栄治	髙桑茂樹	伊藤賢二
認定第１号	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第２号	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第４号	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第５号	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第６号	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第７号	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【○】は賛成（採択）【×】は反対（不採択）　議員名は左より会派ごとの議席順に記載。
なお、冨田宗一議員は議長職のため、採決には加わりません。

いいもんせともん議会を開催しました！

9月定例会では初日を「いいもんせともん議会」と銘打ち、議員および市長をはじめとする職員が瀬戸市ロゴマークが入ったポロシャツを着て本会議に出席しました。

また、せとものの祭や招き猫まつりなどの市を代表するお祭りに加え、本年は国際芸術祭「あいち2025」が開催され、愛・地球博20周年という区切りの年でもあります。

このことから、議長席にモリゾー・キッコロのぬいぐるみを置き、お祭りをPRするパネルを設置し、議場前スペースには市のPRコーナーを設置しました。

広聴部会ニュース

市民の方どなたでも参加いただけます!!

「せとまちトーク」～市民と議会の意見交換会～を開催します!!

テーマごとに分かれて、グループワークを行います。課題に対するあなたの考える解決策やアイデアなどをお聞かせください。

皆さんからいただいたご意見を、担当委員会などで検討し、市民の皆さんがより住みやすいと実感できる瀬戸市につなげていきます。

皆さんのご参加をお待ちしております。

日時　令和7年
11月10日（月）午後7時～8時30分
11月15日（土）午後2時～3時30分

場所　瀬戸市文化センター

テーマ❶　瀬戸の魅力をふるさと納税で発信 ～瀬戸の魅力が詰まった返礼品のアイデア教えてください～

テーマ❷　未来の図書館について～行きたくなる図書館を一緒に考えよう～

テーマ❸　中心拠点の活性化 ～尾張瀬戸駅周辺・新瀬戸駅周辺にあなたが望む機能は？～

※各テーマ終了後、フリーテーマでお話しできる時間があります。※両日とも同じテーマで行います。

一般質問

市の行政課題などについて14人の議員が考え方や内容を質問しました。
質問を行った順に、一人ずつ紹介します。

市民の声
中川 昌也

宅配ボックス設置費補助金導入に向けて

Q 宅配ボックス設置は、宅配便の再配達を減少させると共に、配達車両から排出されるCO²を削減することができる。市民生活向上につながる、個別住宅向け宅配ボックス設置費補助金を導入すべきと考えるが、見解を伺う。

A 宅配ボックス設置の効果は、再配達の減少に寄与し、温室効果ガスの排出量および労働者負担の削減に一定の効果があると認識している。導入にあたっては、今後の状況を注視し、研究を進めていきたいと考えている。（環境課）

自民
新政クラブ
山内 精一郎

本市のシティプロモーション戦略を考える

Q 瀬戸に住みたい、住み続けたい人を増やすことは将来的な税収確保の基盤づくりとなる。「関係人口」の創出は、「定住人口」を増加させることに繋がり、本市のプロモーション戦略の「最大のインフラ投資」と捉えるが、瀬戸市シティプロモーション推進アクションプランの意義と進捗について伺う。

A 「瀬戸で暮らす魅力を伝える」ためのアクションについては、「地域経済の活性化」、「地域の担い手確保」といった関係人口の創出に大きく寄与するものであり、計画の実現に向けて引き続き取り組んでいく。（政策推進課）

日本共産党
瀬戸市議団
新井 亜由美

市の女性管理職を増やし意思決定の場に女性が半数いる自治体へ

Q 市長の「女性の活躍推進行動宣言」は、男性中心の社会を、女性の積極的参加で切り拓いていくということか。また、市の女性管理職が増え組織が変わると、市民生活にはどう影響していくか伺う。

A 職場や地域への女性の積極的な参加は、男性中心の社会で十分に活かされてこなかった新たな発想や多様な意見を社会に取り入れる重要な要素であり、女性活躍の推進は、すべての人が生きやすい社会づくりに不可欠である。また、市の女性管理職が増えることで、各種政策に多様な視点や意見が反映され、市民の日々の暮らしにより良い影響を与えると認識している。（多様性協働課）

日本共産党
瀬戸市議団
浅井 寿美

記録的な猛暑から高齢者の命を守るためにエアコン設置補助を

Q 猛暑の中で命にかかわる熱中症が多発している。本市の5月～8月の救急搬送82件のうち、高齢者はその7割弱、住居発生の32件の内、エアコン未設置9件、無使用15件、合わせて24件75％が、エアコンが無いか動いていない中で発生している。熱中症になりやすい高齢者がエアコンの未設置で命を落とすことのないよう、エアコン購入・設置補助を行うべきと考えるが、見解を伺う。

A 本市独自の非課税高齢者世帯へのエアコン購入設置補助は現在のところ予定していないが、近隣市町の状況を確認するとともに国の施策に順じ様々な観点から低所得世帯を支援していく。（高齢者福祉課）

会議の様子は会議録や録画映像でご覧になれます。

Q 市議の質問
A 市の回答

自転車安全利用の推進について

新風せと 無所属の会
馬嶋 みゆき

Q 危険運転や重大事故を背景に、来年度から16歳以上の自転車違反に交通反則通告制度(青切符)が適用される。学校での安全教育は交通規則やヘルメット着用の必要性などを学ぶ大切な機会であり定期化をしてはどうか。また、本市のヘルメット着用推進補助金は今年度までだが、今後も継続する考えはあるか伺う。

A 自転車利用に関する安全教育の重要性は認識しており、道路交通法の改正を契機に自転車の安全な乗り方や適正利用について学校での指導を強化する。補助事業の継続は、実施している事業の効果や今後の進め方も踏まえ検討する必要がある。
(防災安全課、学校教育課)

低下傾向にある子どもの体力向上に向けて

自民 新政クラブ
黒柳 知世

Q 令和6年度全国体力・運動習慣等調査結果、ほとんどの種目で県平均(愛知県全国順位：小5男子47位、女子43位)を下回る結果となった。専科指導の対象である体育の授業での市単独予算での教職員の加配の方向性を伺う。また、遊びを通して体力向上にもつながる公園は、直射日光下が多いため、東屋だけではなく、シェードや屋根など日よけの設置が必要だと考えるが見解を伺う。

A 専科指導の充実を図るためには、教職員の充実が欠かせないと考えているが、加配については、県や国に求めていく。公園整備については、今後の統廃合の中で研究を続けたい。 (学校教育課、建設課)

小中学生の通学路における熱中症対策について

自民 新政クラブ
髙島 淳

Q 近年、夏季の気温は大幅に上昇し、猛暑日となる日は増えている。この時期の徒歩通学は児童生徒の健康に深刻な影響を及ぼしていると考えるが、本市の対応と今後の対策について伺う。

A 本市では「瀬戸市立小中特別支援学校における熱中症ガイドライン」を作成し、熱中症に対する行動指針を示すことで、登下校時の水分の補給、日傘、冷却用品の使用など、熱中症対策の徹底をしている。今後の適正配置の検討を踏まえ、コミュニティバス、スクールバスなどの運用も視野に入れ、安全な通学路を確保していきたい。 (学校教育課)

先を見据えこれからすべき教育環境整備について

新風せと 無所属の会
松原 大介

Q スクールバス運用の導入は、単に通学補助機能だけではなく、民間プール委託や部活動拠点校への送迎利用、遠足など学校行事での利用、コミュニティバスとの連動など、社会状況の変化により、複合的な活用によって以前より効果を見出せる事業になってきている。数年後を見据え全庁的に議論していってはどうか伺う。

A 近年スクールバスは、様々な活用方法が考えられる状況となっている。導入した場合の具体的な活用用途や運用方法、経費などについて調査検討を進めている。今後、全庁的に中長期的な視点で議論していく。
(学校教育課)

市内企業における障がい者の就労支援について

公明党 瀬戸市議団
三宅 聡

Q 市内企業における障害者の就労支援ではテレワークや短時間勤務など柔軟な働き方への支援が求められている。そのような就労形態への対応はどのようにされているか伺う。

A テレワークや短時間勤務など柔軟な就労形態への対応については、障害の有無に関わらず、誰もが多様な働き方を選べる環境を整える必要があると考える。そのため愛知労働局との協定に基づく求人説明会や瀬戸・尾張旭雇用対策協議会と連携したセミナーの開催に加え、市が事務局を務める瀬戸市地域産業振興会議での職場環境づくり応援補助金などにより、柔軟な働き方への支援に取り組んでいる。（商工観光課）

多文化共生の瀬戸市をめざして

日本共産党 瀬戸市議団
原 誠

Q 市長は多文化共生社会の実現に向けてどのような思いをもって取り組んでいくのか見解を伺う。

A 本市には様々な国籍や文化的背景を持つ方が暮らしている。お互いの文化や価値観を尊重しながら共生していくことが重要だと認識している。今後も語学支援をはじめ相談業務や生活に必要な情報を多言語で提供するなど外国籍市民が地域社会の一員として安心して暮らせる環境を整備する取り組みを推進していく。（多様性協働課）

中水野事業地に、県のレッドデータブック絶滅危惧種が確認されどう保全するのか

市民の声
臼井 淳

Q 事業地内での調査により確認された重要な種とは、県のレッドデータブックの(準)絶滅危惧種のどのような種であるのか。そして、今後造成工事などを行うことになるが、自然環境の保全と緑地の確保を含んだ保全策はどのように講じられるのか伺う。

A 確認された県のレッドデータブック(準)絶滅危惧種以上は、カヤネズミ、ドジョウ、シロオビトリノフンダマシの3種である。重要な種の保全策は示されており、調整池の法肩、法面などの草地緑化や、調整池に常時水面を創出するなど、県とも相談しながら対策が実施されるよう組合に求めていく。（都市計画課）

本市における熱中症対策の取り組みについて

公明党 瀬戸市議団
長江 秀幸

Q 令和5年5月に「熱中症対策実行計画」が閣議決定された。2030年までの目標として熱中症による死者数の半減を目指すとあり、自治体には、庁内体制を整備し、自主的かつ主体的な熱中症対策を推進するよう求めている。現状と今後の取り組みについて伺う。

A 本市においては、国の「熱中症対策実行計画」に基づき、令和6年4月に「熱中症対策行動指針」を策定している。現在は、本指針に沿って庁内の体制を整備するとともに、熱中症予防に係る具体的な対策を実施している。引き続き、指針に沿って効果的な対策を進めていく。（環境課）

気候災害時代にふさわしい労働環境・公共施設整備を！

自民新政クラブ
颯田季央

Q 近年の異常な猛暑環境における学校給食調理現場での労働は、調理員の健康被害のリスクや離職・人材確保難につながる懸念があるが、本市の危機感と改善策を伺う。

A 給食センターの老朽化や現行の衛生管理基準への課題対応のため、早期の建て替えと共に単独校調理室のセンター化を進める方針を判断した。そして、建て替え計画完了まで空調の課題を放置せず、当面の暑熱対策としてルームエアコン設置の可否を調査中である。調理環境の改善に努め、子どもたちに安全でおいしい給食を提供していく。（学校教育課）

本市のゴミ減量政策の今と未来について

自民新政クラブ
朝井賢次

Q リサイクル推進のため、硬質プラスチック回収は近隣自治体でも取り組んでおり、これはゴミ処理施設建て替え補助金獲得の必須事項であると聞いている。予想される効果および経費を伺う。

A 硬質プラスチック回収については、ゴミ処理施設建設の際に活用する国の「循環型社会形成推進交付金」の交付条件になっていることに加え、燃えるごみ量の削減や資源化率向上が見込まれるため、実施していく必要がある。なお、新たに収集運搬や中間処理に係る費用が必要になるため、近隣自治体の取り組みを参考として、具体的な経費の額を精査していく。（環境課）

新体制の委員会が、今後2年間に取り組む主な調査研究事項をご紹介します。

議会運営委員会

◆ **政務活動費について**

EXPO 2005
AICHI JAPAN

2005年の愛・地球博は「ボランティア元年」と呼ばれました。国際博覧会として初めて大規模な市民ボランティアが導入され、全国から集まった8,000人以上が来場者案内や、運営を担いました。年齢や職業を超えた幅広い層が参画し、国際博覧会を市民の力で体現した点が画期的でした。この取り組みは、日本における大規模イベントのボランティア参加の先駆例となり、その後の、東京オリンピック、今年開催された大阪万博へ繋がっています。さらに、東日本大震災をはじめ、そのほかの震災、水害などの大規模災害において市民ボランティアが協力できる体制を整えるきっかけとなりました。

また、今年は本市をメイン会場に開催中の国際芸術祭「あいち2025」が開催され、また、今年は2005年の愛・地球博から20周年を迎える節目の年。自然との共生や多様性の尊重といった万博の理念を継承しつつ、現代アートの力で新たな視点を提示します。

瀬戸の歴史あるやきもの文化と最先端の芸術表現が響き合う、未来へつながる舞台をぜひご体感ください。

©GISPRI

テレビ番組

グリーンシティコムそらまめチャンネル
「こんにちは！瀬戸市議会です。」(地上デジタル121ch)

9月定例会の番組内容は「決算審査」や「せとまちトークのお知らせ」などについてお送りしました。

次回放送予定 令和8年1月26日(月)～2月1日(日)

放送時間 7:10～、9:10～、12:10～、14:10～
18:10～、22:10～

番組がご覧になれます。

ラジオ番組

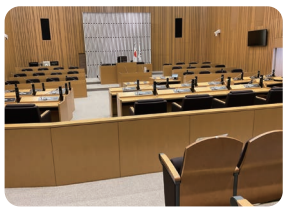
RADIO SANQ「せとまちradio!」(FM84.5MHz)

放送の前半は定例会のお知らせ、後半では「わたしの好きなせと」について議員が語るコーナーもあります。どんな思いが語られるのかどうぞお楽しみに。

次回放送予定 12月3日(水)、令和8年1月7日(水)

放送時間 9:20～、12:30～、18:00～、24:00～

RADIO SANQホームページから
過去の放送分もお聴きいただけます。



傍　聴

傍聴をご希望の方は、北庁舎5階の議会事務局にお越しください。

インターネット中継

会議の様子をライブ配信(生中継)・録画配信しています。ホームページからアクセスしてください。

スマートフォン・タブレットでも！

12月定例会開催予定

11月28日(金) 本会議（開会・議案上程・説明）
12月　3日(水) 本会議（一般質問）
　　4日(木) 本会議（一般質問）
　　5日(金) 本会議（一般質問・議案質疑・委員会付託）、予算決算委員会
　　9日(火) 総務生活委員会、予算決算委員会総務生活分科会
　　10日(水) 厚生文教委員会、予算決算委員会厚生文教分科会
　　11日(木) 都市活力委員会、予算決算委員会都市活力分科会
12月16日(火) 予算決算委員会、議会運営委員会
　　18日(木) 議会運営委員会
　　19日(金) 本会議（委員長報告・討論・議案採決・閉会）

※いずれも、午前10時からの開催予定ですが、日程が変更される場合があります。
※会議の様子は、瀬戸市議会のホームページからインターネット中継でご覧いただくことができます。
※請願・陳情の提出締切は、11月17日(月)の午後5時です。

編集後記

9月定例会は、通常の議案や補正予算に加え、令和6年度決算の認定が議題となりました。前年度の予算の使い方は今年度予算の参考になるとともに、来年度の予算編成に当たっても重要な資料となります。そのため、各議員が真剣な議論を戦わせました。今号ではその一端がお伝えできればと思います。

ご意見・ご感想はこちらから

問合せ先／議会事務局 議事課（市役所5階）
88・2740
E-mail▶giji@city.seto.lg.jp
編集・発行／瀬戸市議会
〒489-8701 瀬戸市追分町64-1

瀬戸市議会ホームページ
SNS、YouTubeをcheck！

アプリでも議会だよりをcheck！
マイ広報紙　マチイロ